

生産科学科 1 年『農業と環境』 単元別評価規準

【科目の目標】

農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業生物の育成と環境の保全について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	農業生物の育成と環境の保全など農業と環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	農業生産の育成と環境の保全など農業と環境に関する基礎的な技術を身に付け、農業生物の育成と環境の保全に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業生物の育成と環境の保全など農業と環境に関する基礎的な知識を身に付け、農業生物の特性と栽培・飼育環境や環境保全・創造の重要性を理解している。

1 農業学習と学校農業クラブ活動

学習指導要領 (4) 農業学習と学校農業クラブ活動

(1) 単元の目標

- ① 農業の学習について興味・関心を高めるとともに、農業学習の特質や実践的、総合的な学習であることを理解させる。
- ② 農業におけるプロジェクト学習について興味・関心を高めるとともに、プロジェクト活動の実践過程について理解させる。
- ③ 学校農業クラブ活動について興味・関心を高めるとともに、主体的、自律的に学習する態度を育成する学習活動であることを理解させる。
- ④ 学校農業クラブ活動に参加することで、興味・関心を高め、意欲的に活動する態度を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業学習と学校農業クラブ活動について興味・関心をもち、農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動の学習の課題について探究しようとしている。	農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	農業クラブ活動に積極的に参加し、日常の学習から資料や情報を収集し、適切に活用している。	農業学習と学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動について学習の特徴を理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・授業参加意欲 ・学校農業クラブ行事参加意欲	・ワークシート ・意見発表	・意見発表 ・鑑定競技 ・実績発表 ※総合実習にて評価	・ワークシート ・定期考査

2 カボチャ栽培プロジェクト

学習指導要領 (2) 農業生産の基礎

(1) 単元の目標

- ① カボチャの育成について、プロジェクト学習法を用いた体験的、探究的な学習を通して、生徒の興味・関心を高めるとともに、科学的な見方・考え方と実践力を育成する。
- ② カボチャの種類と特性、育成環境及び栽培に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
- ③ カボチャの栽培の計画・管理・評価の方法を通して、プロジェクト学習の進め方を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
カボチャの栽培について興味・関心を持ち、播種から収穫までの栽培プロジェクトに主体的に取り組み、農業生物の育成と栽培環境について探究しようとしている。	カボチャの種類と特性、栽培環境の要素、利用及び計画・管理・評価に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	カボチャの栽培の基礎的な技術を身に付け、農業生物の育成に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	カボチャの栽培の基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連付けて理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・授業参加意欲	・ワークシート ・実習取り組み状況	・実習取り組み状況 ・実習レポート ・パフォーマンステスト	・ワークシート ・定期考査

3 農業生産と環境保全の基礎

学習指導要領 (1) 暮らしと農業 (2) 農業生産の基礎 (3) 環境の調査・保全・創造

(1) 単元の目標

- ① 作物の生理作用に関する基礎的な知識を習得させ、作物の生理・生態的な特性と生育の規則性について理解させる。
- ② 播種、定植や収穫などの栽培管理、整地、除草、施肥やかん水などの栽培環境の管理に関する基礎的な知識と技術を習得させ、体験的に理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業生産の基礎について興味・関心を持ち、農業生物の育成と栽培環境について探究しようとしている。	農業生産に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業生産に関する基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	農業生産に関する基礎的な知識を身に付け、農業生物の育成と栽培環境を関連付けて理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・授業・実習参加意欲	・ワークシート ・実習取り組み状況	・実習取り組み状況 ・実習レポート ・パフォーマンステスト	・ワークシート ・定期考査

4 私たちの暮らしと食料・農業・農村

学習指導要領 (1) 暮らしと農業

(1) 単元の目標

- ① 日本の農業と日本が農産物を輸入している主な国の農業について、理解させるとともに、農業、食料供給に興味と関心を持たせる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業の動向と課題について興味・関心を持ち、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関わりについて探究しようとしている。	農業の動向と課題に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業の動向と課題に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	農業の動向と課題に関する基礎的な知識を身に付け、農業の社会的な役割について理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・定期考査

生産科学科 1 年『総合実習』 単元別評価規準

【科目の目標】

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業の各分野について興味・関心をもち、体験的な学習に意欲的に取り組むとともに、総合化された知識と技術を習得しようとする実践的な態度を身に付けている。	農業の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	実際の経営や管理に即した実験・実習を通して、総合的な知識と技術を身に付け、農業の各分野に関する諸課題に対してその技術を適切に活用している。	農業の各分野に関する基礎的な知識を身に付け、各農業分野の技術が体系化、総合化された技術であることを理解し、各場面に応用する上で、技術の役割を理解している。

1 学校農業クラブ活動

学習指導要領 (4) 農業学習と学校農業クラブ活動

(1) 単元の目標

- ① 学校農業クラブ活動について興味・関心を高めるとともに、自主的、主体的に学習する態度を育成する学習活動であることを理解させる。
- ② 学校農業クラブ活動に参加することで、興味・関心を高め、意欲的に活動する態度を育成する。
- ③ 各種発表や農業鑑定競技などの技術競技において、自主的に取り組み、技術の習熟や表現力の向上を図るとともに、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業クラブ活動について興味・関心をもち、農業学習の特質及び学校農業クラブ活動の学習の課題について探究しようとしている。	農業学習の特質及び学校農業クラブ活動について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	農業クラブ活動に積極的に参加し、日常の学習から資料や情報を収集し、適切に活用している。	農業学習と学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の特質及び学校農業クラブ活動について学習の特徴を理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・意見発表の原稿 ・意見発表の発表	・意見発表の原稿	・鑑定競技 ・情報処理競技

2 馬の飼育管理

学習指導要領 (1) 農業の各分野に関する総合的な実習

(1) 単元の目標

- ① 軽種馬の栽培に関する様々な知識と技能を体得させる。
- ② 共同の精神を育むことにより、他者に対する思いやりや奉仕の心を育てる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
馬の飼育管理に必要な興味・関心をもち、軽種馬の育成について探究しようとしている。	馬の飼育管理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め軽種馬の育成に関しての基礎的・基本的な能力を養い、適切に判断している。	馬の飼育の基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	馬の飼育に必要な基礎的な知識を持ち、軽種馬の育成について理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・実習記録簿 ・実習での服装 ・実習への集合時間	・ワークシート ・実習記録簿	・パフォーマンステスト	・ワークシート ・実習記録簿 ・ディベート

3 園芸作物の栽培管理

学習指導要領 (1) 農業の各分野に関する総合的な実習

(1) 単元の目標

- ① ニンジン栽培を通して園芸作物の栽培管理に関する知識と技術を習得させ、プロジェクト学習法を用いた体験的、探究的な学習を通して、生徒の興味・関心を高めるとともに、科学的な見方・考え方と実践力を育成する。
- ② 園芸作物の特性、育成環境及び栽培に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
- ③ 共同の精神を育むことにより、他者に対する思いやりや奉仕の心を育てる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
園芸作物の栽培管理に必要な興味・関心をもち、ニンジン栽培について探究しようとしている。	園芸作物の栽培管理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、ニンジン栽培に関しての基礎的・基本的な能力を養い、適切に判断している。	園芸作物の栽培官営の基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	園芸作物に必要な基礎的な知識を持ち、ニンジン栽培について理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・実習記録簿 ・実習での服装	・ワークシート ・実習記録簿	・パフォーマンステスト	・ワークシート ・実習記録簿

4 職業資格の取得（農業技術検定3級）

学習指導要領 課題研究（4）職業資格の取得

（1）単元の目標

- ① 資格取得に向けた学習活動を通して、自己学習能力の伸長と問題解決の能力を身に付けさせる。
- ② これまでの農業学習の深化、総合化を図り、自発性や創造性を身に付けさせる。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
資格取得を目指すことで農業について興味・関心をもち、農業学習の特質及び各農業分野についての課題について探究しようとしている。	資格取得を目指すことで学習の深化の一環として、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	これまでの農業学習に関する基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	資格取得を目指すことで農業について基礎的な知識を身に付け、これまでの農業学習について地域農業を関連付けて理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・過去問題の取り組み	・ワークシート ・過去問題の取り組み	・ワークシート ・資格試験	・ワークシート ・資格試験

5 農業の各分野に関する総合的な実習（時間外実習）

学習指導要領（1）農業の各分野に関する総合的な実習

（1）単元の目標

- ① 園芸・馬分野の総合的な実習を通して、作物栽培、家畜飼育に関する知識と技術を習得させ、技術の役割と各技術の相互関係を理解させるとともに、それらの技術を生産、加工、利用の各場面で活用する実践的な能力と態度の育成を図る。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業生物の栽培・飼育について興味・関心をもち、農業生物の特性、栽培・飼育環境及びそれらの管理技術が相互に関係していることについて探究しようとしている。	農業生物の栽培・飼育に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、実践的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業生物の栽培・飼育に関する実践的な技術を身に付け、農業生物の育成に関する技術を適切に活用している。	農業生物の栽培・飼育に関する実践的な知識を身に付け、農業生物の特性、栽培・飼育環境及びそれらの管理技術が相互に関係していることを理解している。
主な評価方法			
・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿

生産科学科 1 年『農業情報処理』 単元別評価規準

【科目の目標】

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、情報に関する知識と技術を習得させるとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
社会における情報化の進展と情報の意義や役割について興味・関心をもち、課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	社会における情報化の進展と情報の意義や役割に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する能力を身に付けている。	社会における情報化の進展と情報の意義や役割に関する基礎的な技術を身に付け、社会における情報化の進展と情報の意義や役割を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	情報の活用、生活と農業の情報化に関する基礎的な知識を身に付け、社会における情報化の進展と情報の意義や役割の重要性を理解している。

1 文書処理のソフトウェアによる情報の活用

学習指導要領 (3) 情報技術

(1) 単元の目標

- ① ハードウェア及び文書処理のソフトウェアの原理、機能、役割、構成、種類について学習させ、ハードウェアや文書処理のソフトウェアの評価選択ができる能力を育てる。
- ② 文書処理のソフトウェアを目的に応じて活用する能力を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
文書処理のソフトウェアによる情報の活用に興味・関心をもち、目的に応じての活用について探究しようとしている。	文書処理のソフトウェアによる情報を活用の諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、そのかていやけっかを適切に表現している。	文書処理のソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	文書処理のソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な知識を身に付け、目的に応じての活用の重要性などを理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント ・定期考査 ・演習問題	・プリント ・定期考査 ・演習問題	・プリント ・定期考査

2 表計算のソフトウェアによる情報の活用

学習指導要領 (3) 情報技術

(1) 単元の目標

- ① ハードウェア及び表計算のソフトウェアの原理、機能、役割、構成、種類について学習させ、ハードウェアや表計算のソフトウェアの評価選択ができる能力を育てる。
- ② 表計算のソフトウェアを目的に応じて活用する能力を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
表計算のソフトウェアによる情報の活用に興味・関心をもち、目的に応じての活用について探究しようとしている。	表計算のソフトウェアによる情報を活用する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、そのかていやけっかを適切に表現している。	表計算のソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	表計算のソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な知識を身に付け、目的に応じての活用の重要性などを理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント ・定期考査 ・演習問題	・プリント ・定期考査 ・演習問題	・プリント ・定期考査

3 情報通信ネットワークのしくみと利用

学習指導要領 (3) 情報技術

(1) 単元の目標

- ① 情報通信ネットワークの種類や仕組みに興味・関心をもち、性能や特徴について理解させる。
- ② コンピュータや携帯情報端末による情報通信ネットワークを効果的に活用して情報を適切に収集、処理、発信する能力と態度を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報通信ネットワークのしくみと利用に興味・関心をもち、インターネットによる情報検索の方法、電子メールの利用方法など情報通信ネットワークのしくみと利用について探究しようとしている。	情報通信ネットワークのしくみと利用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	情報通信ネットワークのしくみと利用に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	情報通信ネットワークのしくみと利用に関する基礎的な知識を身に付け、情報通信ネットワークのしくみと利用の重要性などを理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント	・プリント	・プリント ・定期考査

4 生活と農業の情報化

学習指導要領 (1) 産業社規と情報

(1) 単元の目標

- ① 高度通信社会の構造や特質、情報通信技術の進展が産業や生活に及ぼす影響、情報の意味と多様性・利便性について具体的な事例を通して理解させる。
- ② 進展する高度通信社会の構成員となるうえで必要な態度を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
高度情報通信社会と生活や農業との関係について興味、関心を持ち、著作権や情報モラル、安全性の確保との関わりについて探究しようとしている。	高度情報通信社会の情報に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、著作権や情報モラル、安全性の確保し、その過程や結果を適切に表現している。	著作権の尊重、情報モラル、情報システムの安全性の確保に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	高度情報通信社会に関する基礎的な知識を身に付け、情報モラル、情報システムの安全性の確保との関わりについて理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント	・プリント ・定期考査	・プリント ・定期考査

生産科学科 1 年『生物活用』 単元別評価規準

【科目の目標】

園芸作物や社会動物の活用に必要な知識と技術を習得させ、それらの生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解させるとともに、生活の質の向上を図る能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
園芸作物や社会動物の活用について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	園芸作物や社会動物の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	園芸作物や社会動物の活用に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	園芸作物や社会動物の活用に関する基礎的な知識を身に付け、それらの生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解している。

1 園芸の活用と効果

学習指導要領 (1) 生物活用の意義と役割

(1) 単元の目標

- ① 植物のある環境や栽培、動物との暮らしが人の健康や生活の改善に活用されていることについての学習を通して、生物の活用に対する興味・関心を高め、園芸作物や社会動物など身近な生物がもつ特性及び園芸や飼育が人にもたらす効用について考えさせる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
園芸の活用と効果について興味・関心をもち、暮らしと園芸・効果、活用場面について探究しようとしている。	暮らしと園芸・効果、活用場面について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	暮らしと園芸・効果、活用場面に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	園芸の活用と効果に関する基礎的な知識を身に付け、暮らしと園芸・効果、活用場面について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査

2 ハーブの栽培と活用

学習指導要領 (2) 園芸作物の栽培と活用

(1) 単元の目標

- ① ハーブ類の栽培と利用に関する知識を習得させ、精神・身体・社会的効用をもたらし、生活の質の向上につながることに理解させる。
- ② ハーブ類の栽培・利用の計画・管理・評価の方法を通して、プロジェクト学習の進め方を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ハーブの栽培と活用について興味・関心をもち、生活の質の向上について探究しようとしている。	ハーブの栽培と活用について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	ハーブの栽培と活用の基礎的な技術を身に付け、栽培・活用に関する技術を適切に活用している。	ハーブの栽培と活用に関する基礎的な知識を身に付け、生活の質の向上について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査

3 野菜の栽培と活用

学習指導要領 (2) 園芸作物の栽培と活用

(1) 単元の目標

- ① ダイコンの栽培と利用に関する知識を習得させ、精神・身体・社会的効用をもたらし、生活の質の向上につながることに理解させる。
- ② ダイコンの栽培・利用の計画・管理・評価の方法を通して、プロジェクト学習の進め方を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ダイコンの栽培と活用について興味・関心をもち、生活の質の向上について探究しようとしている。	ダイコンの栽培と活用について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	ダイコンの栽培と活用の基礎的な技術を身に付け、栽培・活用に関する技術を適切に活用している。	ダイコンの栽培と活用に関する基礎的な知識を身に付け、生活の質の向上について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査

4 ウマの進化過程とサラブレッドの三大始祖

(1) 単元目標

- ① ウマの進化過程について興味・関心を高め、その歴史を理解するとともにウマに関する歴史を学習し理解させる。
- ② サラブレッドの三大始祖について学習し、サラブレッドの血統背景を理解させる。
- ③ 学校で飼育するサラブレッドを活用し、サラブレッドの三大始祖の血統背景を辿り、血統からウマの性格を分析し、適切な飼育方法を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ウマの進化過程と歴史に対する興味・関心をもち、ウマの活用方法について探求しようとしている。	ウマの進化過程と歴史に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	サラブレッドの三大始祖の血統からウマの性格分析に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	ウマの進化過程とその歴史に関する基礎的な知識を身に付け、ウマの歴史を理解している。
主な評価方法			
・ノート提出	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・定期考査

5 ウマの手入れ方法

(1) 単元目標

- ① ウマの手入れ方法について興味・関心を高め、手入れを実践するとともにウマの手入れ方法を学習し理解させる。
- ② ウマを手入れする手順と手入れ道具の使用法を実際に使用させ基礎的な知識と技術を習得させる。
- ③ ウマの手入れを通して病気の発見、怪我の予防や保護に努めさせ、適切な治療の知識と技術を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ウマの手入れ方法に対する興味・関心をもち、ウマの手入れ方法について探求しようとしている。	ウマの手入れ方法に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	ウマの病気の発見と怪我の予防や保護の基礎的な技術を身に付け、治療に関する技術を適切に活用している	ウマの手入れ手順と手入れ道具の使用法に対して基礎的な知識を身に付け、ウマの手入れ方法を理解している。
主な評価方法			
・ノート提出	・ワークシート ・手入れ試験	・ワークシート	・ワークシート ・定期考査

生産科学科 2 年『総合実習』 単元別評価規準

【科目の目標】

農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
自ら設定した農業に関する課題について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	自ら設定した農業に関する課題について諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	調査・研究・実験、などを通して、各科目で学習した知識と技術を再確認し、自らの課題解決に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	調査・研究・実験、などを通して、各科目で学習した知識と技術を再確認し、自らの課題解決に活用できる高度な知識と理解力を身に付けている。

1 課題選定

学習指導要領 課題研究（１）調査、研究、実験（５）学校農業クラブ活動

（１）単元の目標

- ① 今までの農業学習のまとめ及び卒業生の記録や地域農業の具体的な事例の探索を通して、情報を収集、分類し、関心がもてる事象や問題を選択、発見する方法を体得させる。
- ② 選び出した事象や問題が農業各分野の課題や自らの課題として適切であるかなどの検討ができる知識及び判断できる力を養う。
- ③ 設定した課題及びそれを解決した成果の社会的な意義や個人的な意義を理解させるとともに課題設定能力を育成する。

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
今までの農業学習や地域農業について興味・関心をもち、情報を収集、分類し、関心をもち、学習の課題について探究しようとしている。	今までの農業学習や地域農業について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	選び出した事象や問題が農業各分野の課題や自らの課題として適切であるかなどの検討ができ、日常の学習から資料や情報を収集し、適切に活用している。	設定した課題及びそれを解決した成果の社会的な意義や個人的な意義について理解している。
主な評価方法			
・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿

2 計画作成

学習指導要領 課題研究（１）調査、研究、実験（５）学校農業クラブ活動

（１）単元の目標

- ① 設定した課題の分析と検討並びに課題解決に必要な期間、経費、施設、設備、材料、方法などの検討及び計画を立てることを通して、課題の解決方法を理解させる。
- ② 設定した課題の課題解決に向けて方法・手順、調査・実験に関する計画立案に主体的に取り組み、計画的に計画を立てることを通して、基礎的な知識、技術を身に付けさせる。

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
計画を立てること及び課題の解決方法について興味・関心を持ち、設定した課題について探究しようとしている。	設定した課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	課題解決に向けて、方法・手順、調査・実験に関する計画立案に取り組み、基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	計画を立てること及び課題の解決方法について基礎的な知識を身に付け、設定した課題について今までの農業学習や地域農業を関連付けて理解している。
主な評価方法			
・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿 ・計画発表会の原稿	・計画発表会の発表 ・計画発表会のプレゼンテーション	・プロジェクト記録簿

3 課題解決へ向けた実践（調査・研究・実験）

学習指導要領 課題研究（１）調査、研究、実験（５）学校農業クラブ活動

（１）単元の目標

- ① 計画に基づいて、科学的、合理的に調査、研究、実験に取り組み、客観性のある記録を行うことで、科学性、主体性、実行力を育成する。
- ② プロジェクト活動を通して、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度などの育成をする。

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
計画に基づいた課題の解決方法について興味・関心を持ち、自発的、創造的な学習態度を養い、設定した課題について探究しようとしている。	設定した課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	課題解決に関する合理的な調査、研究、実験に取り組み、基礎的な技術を身に付け、客観性のある記録を行い、その技術を適切に表現している。	課題の解決方法について基礎的な知識を身に付け、今までの農業学習や地域農業を関連付けて理解している。
主な評価方法			
・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿

4 活動のまとめ、発表

学習指導要領 課題研究（１）調査、研究、実験（５）学校農業クラブ活動

（１）単元の目標

- ① 学習成果を学校や地域などで発表したり、交流したりすることを通して、言語活動を充実させ、課題の理解の深化を図り、新たな課題への接続を図るとともに、プレゼンテーション能力を育成する。

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
設定した取り組みについて興味・関心を持ち、計画からまとめまでのプロジェクトのまとめを主体的に取り組み、課題解決について探究しようとしている。	設定した取り組みに関する取組の内容や結果について、思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	結果を的確にプレゼンテーションで伝えることができる基礎的な技術を身に付け、言語活動の充実を図り、設定した取り組みに関するプロジェクトを合理的にまとめ、その技術を適切に活用している。	問題解決能力や自発的、創造的な学習に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動について学習の特徴を理解している。
主な評価方法			
・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿 ・発表原稿	・実績発表 ・プレゼンテーション ・発表原稿 ・発表力	・プロジェクト記録簿

5 課題のまとめ、自己評価

学習指導要領 課題研究（１）調査、研究、実験（５）学校農業クラブ活動

（１）単元の目標

- ① 取り組みの内容や結果をまとめ、評価させることを通して、結果の分析やまとめ方及び記録簿の作成方法などを習得させ、まとめ上げる力や自己評価を行う能力と態度を育成する。

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
設定した課題について興味・関心を持ち、計画からまとめまでのプロジェクトを主体的に取り組み、課題解決について探究しようとしている。	取り組みの内容や結果をまとめ、課題解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	取り組みの内容や結果をまとめ、評価し、それらを適切に選択して活用し、的確に記録簿を作成する力が身についている。	取り組んだ内容や結果をまとめ、設定した課題に関する基礎的な知識を身に付け、評価をすることで、課題の理解の深化ができている。
主な評価方法			
・プロジェクト記録簿	・プロジェクト記録簿	・実績発表	・プロジェクト記録簿

6 学校農業クラブ活動

学習指導要領 (4) 農業学習と学校農業クラブ活動

(1) 単元の目標

- ① 農業における技術競技について興味・関心を高めるとともに、技術及び経営と管理について理解させる。
- ② 農業における意見発表について興味・関心を高めるとともに、自主的、に発表を行い、言語活動の充実と表現力の向上を図り、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成する。
- ③ 農業におけるプロジェクト発表について興味・関心を高めるとともに、自主的に研究、発表を行い、言語活動の充実と表現力の向上を図り、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成する
- ④ 学校農業クラブ活動について興味・関心を高めるとともに、自主的、主体的に学習する態度を育成する学習活動であることを理解させる。
- ⑤ 学校農業クラブ活動に参加することで、興味・関心を高め、意欲的に活動する態度を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業クラブ活動について興味・関心をもち、農業学習の特質及び学校農業クラブ活動の学習の課題について探究しようとしている。	農業学習の特質及び学校農業クラブ活動について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	農業クラブ活動に積極的に参加し、日常の学習から資料や情報を収集し、適切に活用している。	農業学習と学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の特質及び学校農業クラブ活動について学習の特徴を理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・実習記録簿	・ワークシート ・実習記録簿	・実習記録簿	・ワークシート ・実習記録簿

7 農業の各分野に関する総合的な実習（時間外実習）

学習指導要領 (1) 農業の各分野に関する総合的な実習

(1) 単元の目標

- ① 園芸・馬分野の総合的な実習を通して、作物栽培、家畜飼育に関する知識と技術を習得させ、技術の役割と各技術の相互関係を理解させるとともに、それらの技術を生産、加工、利用の各場面で活用する実践的な能力と態度の育成を図る。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業生物の栽培・飼育について興味・関心をもち、農業生物の特性、栽培・飼育環境及びそれらの管理技術が相互に関係していることについて探究しようとしている。	農業生物の栽培・飼育に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、実践的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業生物の栽培・飼育に関する実践的な技術を身に付け、農業生物の育成に関する技術を適切に活用している。	農業生物の栽培・飼育に関する実践的な知識を身に付け、農業生物の特性、栽培・飼育環境及びそれらの管理技術が相互に関係していることを理解している。
主な評価方法			
・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿

生産科学科 2 年『農業情報処理』 単元別評価規準（案）

【科目の目標】

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、情報に関する知識と技術を習得させるとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
社会における情報化の進展と情報の意義や役割など農業情報処理について興味・関心をもち、課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	社会における情報化の進展と情報の意義や役割など農業情報処理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する能力を身に付けている。	社会における情報化の進展と情報の意義や役割など農業情報処理に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	社会における情報化の進展と情報の意義や役割など農業情報処理に関する基礎的な知識を身に付け、社会における情報化の進展と情報の意義や役割の重要性を理解している。

1 情報の基礎

学習指導要領（2）情報モラルとセキュリティ（3）情報技術

（1）単元の目標

- ① コンピュータや携帯情報端末による多様な情報の処理とコミュニケーションを利用する上で、自由な情報流通の必要性と、個人のプライバシーや著作権など知的財産の保護について放棄と関連付けて理解させる。
- ② 社会全体が情報通信ネットワークへの依存度を高めている現状と情報通信ネットワークの安全性及び情報の信頼性を確保することの重要性を理解させる。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報の基礎について興味・関心をもち、コンピュータのしくみ、情報モラル、セキュリティについて探究しようとしている。	情報の基礎に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な動作を基に合理的に判断し、適切に表現している。	情報の基礎に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	情報の基礎に関する基礎的な知識を身に付け、コンピュータのしくみ、情報モラル、セキュリティについて理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント	・プリント ・定期考査	・プリント ・定期考査

2 文書処理のソフトウェアによる情報の活用

学習指導要領 (3) 情報技術

(1) 単元の目標

- ① 文書処理のソフトウェアを、基礎を基にした目的に応じて活用する実践的な能力を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
文書処理のソフトウェアによる情報の活用に興味・関心を持ち、目的に応じての活用について探究しようとしている。	文書処理のソフトウェアによる情報を活用の諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、そのかていやけっかを適切に表現している。	文書処理のソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	文書処理のソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な知識を身に付け、目的に応じての活用の重要性などを理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント ・定期考査 ・演習問題	・プリント ・定期考査 ・演習問題	・プリント ・定期考査

3 表計算のソフトウェアによる情報の活用

学習指導要領 (3) 情報技術

(1) 単元の目標

- ① 表計算のソフトウェアを、基礎を基にした目的に応じて活用する実践的な能力を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
表計算のソフトウェアによる情報の活用に興味・関心を持ち、目的に応じての活用について探究しようとしている。	表計算のソフトウェアによる情報を活用の諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、そのかていやけっかを適切に表現している。	表計算のソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	表計算のソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な知識を身に付け、目的に応じての活用の重要性などを理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント ・定期考査 ・演習問題	・プリント ・定期考査 ・演習問題	・プリント ・定期考査

4 プレゼンテーションのソフトウェアによる情報の活用

学習指導要領 (3) 情報技術

(1) 単元の目標

- ① ハードウェア及びプレゼンテーションのソフトウェアの原理、機能、役割、構成、種類について学習させ、ハードウェアや文プレゼンテーションのソフトウェアの評価選択ができる能力を育てる。
- ② プレゼンテーションのソフトウェアを目的に応じて活用する能力を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
プレゼンテーションのソフトウェアによる情報の活用に興味・関心をもち、目的に応じての活用について探究しようとしている。	プレゼンテーションのソフトウェアによる情報を活用する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、そのかていやけっかを適切に表現している。	プレゼンテーションのソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	プレゼンテーションのソフトウェアによる情報を活用に関する基礎的な知識を身に付け、目的に応じての活用の重要性などを理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント ・グループ演習	・プリント ・グループ演習	・プリント

5 農業学習と情報活用

学習指導要領 (5) 農業学習と情報活用

(1) 単元の目標

- ① 課題の発見・テーマ設定、解決策作成、結果発表など、学習を進める各段階において情報通信技術を活用させる。
- ② 生徒の主体的・体験的活動を重視し、生徒同士での討議や相互評価などの学習を取り入れ、創造的思考力や科学的判断力、コミュニケーション能力と協働的態度の育成を図る。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業学習と情報活用について興味・関心をもち、情報通信技術の活用について探究しようとしている。	農業学習と情報活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業学習と情報活用に関する基礎的な技術を身に付け、情報活用に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業学習と情報活用に関する基礎的な知識を身に付け、情報通信技術の活用を理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・発言・動作観察	・ワークシート ・グループ発表 (プレゼンテーション)	・ワークシート ・グループ発表 (プレゼンテーション)	・ワークシート ・グループ発表 (プレゼンテーション)

生産科学科 2 年『草花』 単元別評価規準

【科目の目標】

草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
草花の生産と経営について興味・関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	草花の生産と経営など草花に関する品質と生産性の向上及び経営における諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	草花に関する品質と生産性の向上及び経営に関する基礎的な技術を身に付け、草花の特性や生産に適した環境に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	草花の特性や生産に適した環境に関する基礎的な知識を身に付け、草花の特性と生産に適した環境や品質と生産性の向上及び経営の改善の重要性を理解している。

1 草花生産と消費の動向

学習指導要領 (1) 草花生産の役割と動向

(1) 単元の目標

- ① 草花の生産の特性についての学習を通して草花の生産と経営について興味関心を高めるとともに、我が国で生産している草花の種類や生産形態に関する知識を習得させる。
- ② 各種の草花が多様な流通経路を経由することを学び、我が国の草花の流通形態と我が国と諸外国の生産状況と消費動向の両面から、草花生産の役割と特質について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
草花生産と消費の動向について興味・関心を持ち、草花生産の可能性と栽培的、経営的な課題について探究しようとしている。	草花生産と消費の動向について思考を深め、草花の生産と経営について基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	草花生産と消費の動向に関する日常の学習から資料や情報を収集し、適切に活用している。	草花生産と消費の動向に関する基礎的な知識を身に付け、草花の種類や生産形態、草花生産の役割と特質について理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・実技試験	・授業用プリント ・定期考査

2 生活と草花の利用

学習指導要領 (1) 草花生産の役割と動向

(1) 単元の目標

- ① 草花の利用形態について学習し、装飾材料や園芸材料など生活環境を創造する植物素材として供給され、あらゆる生活場面で利用されていることを理解させる。
- ② 花壇用草花を中心とした、草花生産の栽培管理に関する基礎的な知識と技術の学習を通して、切り花、鉢もの、花壇用草花の利用について体験的に理解させる。
- ③ 生産・流通している各種の草花の装飾的特性を理解し、草花の装飾的特性をいかした利用方法を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
生活と草花の利用について興味・関心を持ち、草花の利用形態や装飾的特性について探究しようとしている。	生活と草花の利用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	生活と草花の利用に関する基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	生活と草花の利用に関する基礎的な知識を身に付け、草花の利用形態や装飾的特性について関連付けて理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・実技試験	・授業用プリント ・定期考査

3 草花の特徴と栽培技術

学習指導要領 (2) 草花の特性と栽培技術

(1) 単元の目標

- ① 植物の分類法や園芸的分類に基づく草花の特徴などについて、理解させる。
- ② 草花の生育の特徴と規則性、生理作用の特徴など草花の生育と生理並びに成長と環境との関係について学習させる。
- ③ 草花栽培を通して、種子や球根類の貯蔵、休眠、発芽、成長の生理に関する知識を習得させ、栄養成長や生殖成長と環境との関係について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
草花の特徴と栽培技術について興味・関心を持ち、主体的に草花栽培に取り組み、草花の生育の特徴や成長と環境について探究しようとしている。	草花栽培を通して、草花の生育に関する特徴と規則性、生理作用など諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	草花の特徴と栽培技術に関する基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	草花の特徴と栽培技術の基礎的な知識を身に付け、生育の特徴や成長と環境を関連付けて理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・実技試験	・授業用プリント ・定期考査

4 花壇用草花生産

学習指導要領 (3) 草花の生産

(1) 単元目標

- ① 花壇用草花の栽培的特性と経営的特性について学習させ、草花の生理、生態や栽培環境に対する草花の適応性などの栽培的な特性と、労働生産性、資本生産性、収益性、市場性など経営的な特性について理解させる。
- ② 花壇用草花の特性、消費動向と市場性並びにそれらを生かした品種の選定方法について学習させ、花壇用草花生産の動向と今後の課題について理解させる。
- ③ 花壇用草花生産の経済性や消費動向などから経営に合った有利な作型と栽培計画を立てるために必要な知識と技術を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
花壇用草花生産について興味・関心を持ち、探究しようとしている。	花壇用草花生産に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	花壇用草花生産に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	花壇用草花生産の動向と課題に関する基礎的な知識を身に付け、草花の生活環境の役割について理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・実技試験	・授業用プリント ・定期考査

5 花壇用草花の栽培管理

学習指導要領 (3) 草花の生産

(1) 単元目標

- ① 花壇用草花の栽培を通して草花栽培の栽培管理に関する知識と技術を習得させ、プロジェクト学習法を用いた基礎的、発展的な学習を通して、生徒の興味・関心を高めるとともに、科学的な見方・考え方と実践力を育成する。
- ② 花壇用草花の特性、育成環境及び栽培に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
- ③ プロジェクト学習法を用いて、花壇用草花の栽培の計画・管理・評価の方法を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
花壇用草花の栽培について興味・関心を持ち、たねまきから出荷までの栽培プロジェクトに主体的に取り組み、草花の育成と栽培環境について探究しようとしている。	花壇用草花の特性、栽培環境の要素、利用及び計画・管理・評価に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	花壇用草花の栽培の基礎的な技術を身に付け、草花の育成に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	花壇用草花の栽培の基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連付けて理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・実技試験	・授業用プリント ・定期考査

生産科学科 2 年『農業経済』 単元別評価規準

【科目の目標】

農業及び食品産業の経済活動に関する知識と技術を習得させ、流通及び市場の原理を理解させるとともに、流通の改善を図る能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業及び食品産業の経済活動、流通及び市場の原理について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	農業及び食品産業の経済活動、流通及び市場に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	農業及び食品産業の経済活動、流通及び市場に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	農業及び食品産業の経済活動、流通及び市場に関する基礎的な知識を身に付け、理解している。

1 わが国の農業と世界の食料需給

学習指導要領 (1) 我が国の農業と世界の食料需給

(1) 単元の目標

- ① 地域や我が国の農業や食品産業について理解させ、農業及び食品産業の社会的、経済的な役割を理解させるとともにそれらの経済活動に興味と関心を持たせる。
- ② 世界の食料需給と農産物の貿易について学習させ、国際的な食糧需給の動向が我が国の農業生産や国民生活に与える影響について理解させるとともに、世界の食料需給における課題について考えさせる。
- ③ 農業に関する国際的な経済情勢について学習させ、世界貿易機関の農業に関する交渉などが我が国の農業や食品産業に与える影響や食料の安全保障について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
わが国の農業と世界の食料需給について興味・関心をもち、農業や国民経済、世界の食料需給、国際経済事情について探究しようとしている。	農業や国民経済、世界の食料需給、国際経済事情について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	農業や国民経済、世界の食料需給、国際経済事情に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	わが国の農業と世界の食料需給に関する基礎的な知識を身に付け、農業や国民経済、世界の食料需給、国際経済事情について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査

2 食料供給と農業および食品産業

学習指導要領 (2) 食料供給と農業及び食品産業

(1) 単元の目標

- ① 我が国の農業生産の動向やフードシステムに関する知識を習得させ、農産物の価値と食料供給などにおける農業生産の役割と特徴について理解させる。
- ② 我が国の食料消費の形態と動向及び食品産業に関する知識を習得させ、食料供給における食品産業の役割と特徴について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
食料供給と農業および食品産業について興味・関心をもち、農業生産の役割と特徴、食品産業の役割と特徴について探究しようとしている。	農業生産の役割と特徴、食品産業の役割と特徴について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	農業生産の役割と特徴、食品産業の役割と特徴に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	わが国の農業と世界の食料需給に関する基礎的な知識を身に付け、農業生産の役割と特徴、食品産業の役割と特徴について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査

3 農業経営の会計（簿記）

学習指導要領 農業経営 (4) 農業経営の会計

(1) 単元の目標

- ① 簿記演習を通して、簿記上の取引の意義、取引の二重性、取引要素の結合及び貸借平均の原理について理解させ、勘定と仕訳に関する知識と技術を習得させる。
- ② 具体的な取引事例を通して、仕訳帳と元帳の記入方法について理解させ、基調に関する知識と技術を習得させる。
- ③ 商業簿記4級の出題範囲について理解させ、知識と技術を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業経営の会計（簿記）について興味・関心をもち、取引・勘定・仕訳、仕訳帳・元帳の仕組み、記帳方法について探究しようとしている。	取引・勘定・仕訳、仕訳帳・元帳の仕組み、記帳方法について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	取引・勘定・仕訳、仕訳帳・元帳の仕組み、記帳方法に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	農業経営の会計（簿記）に関する基礎的な知識を身に付け、取引・勘定・仕訳、仕訳帳・元帳の仕組み、記帳方法について理解している。
主な評価方法			
・プリント	・プリント ・演習問題 ・定期考査	・プリント ・演習問題 ・定期考査	・演習問題 ・定期考査

4 農産物の市場原理と価格形成

学習指導要領 (3) 農産物の需給と価格形成

(1) 単元の目標

- ① 農産物市場の仕組みなどに関する知識を習得させ、市場の原理と価格形成及び市場の役割について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農産物の市場原理と価格形成について興味・関心をもち、市場の役割について探究しようとしている。	市場の原理と価格形成及び市場の役割に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	市場の原理と価格形成及び市場の役割に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	農産物の市場原理と価格形成に関する基礎的な知識を身に付け、市場の原理と価格形成及び市場の役割について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート	・レポート	・定期考査

生産科学科 2 年『生物活用』 単元別評価規準

【科目の目標】

園芸作物や社会動物の活用に必要な知識と技術を習得させ、それらの生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解させるとともに、生活の質の向上を図る能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
園芸作物や社会動物の活用について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	園芸作物や社会動物の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	園芸作物や社会動物の活用に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	園芸作物や社会動物の活用に関する基礎的な知識を身に付け、それらの生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解している。

1 ジャガイモの栽培と活用プロジェクト

学習指導要領 (2) 園芸作物の栽培と活用

(1) 単元の目標

- ① ジャガイモの栽培・活用について、プロジェクト学習法を用いた体験的、探究的な学習を通して、生徒の興味・関心を高めるとともに、科学的な見方・考え方と実践力を育成する。
- ② ジャガイモの種類と特性、活用に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
- ③ プロジェクト学習法を用いてジャガイモの栽培の計画・管理・活用・評価の方法を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ジャガイモの栽培・活用について興味・関心をもち、たねまきから収穫・活用までのプロジェクトに主体的に取り組む、栽培・活用を通して生活の質の向上について探究しようとしている。	栽培・活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	ジャガイモの栽培・活用の基礎的な技術を身に付け、栽培・活用に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ジャガイモの栽培・活用の基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連付けて理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・実習レポート	・ワークシート ・実習レポート	・実習レポート ・パフォーマンステスト	・ワークシート ・定期考査

2 草花の活用と管理

学習指導要領 (2) 園芸作物の栽培と活用

(1) 単元の目標

- ① 草花の活用・管理について、体験的、探究的な学習を通して、生徒の興味・関心を高めるとともに、科学的な見方・考え方と実践力を育成する。
- ② 草花の特性、活用・管理に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
- ③ 草花の活用・管理の方法を通して、園芸や園芸デザインの活動が、精神・身体・社会的効果をもたらす、生活の質の向上につながることを理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
草花の活用と管理について興味・関心を持ち、活用・管理を通して生活の質の向上について探究しようとしている。	活用・管理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	草花の活用と管理の基礎的な技術を身に付け、栽培・活用に関する技術を適切に活用している。	草花の活用と管理の基礎的な知識を身に付け、これらの活動が生活の質の向上につながることを理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・実習レポート	・ワークシート ・実習レポート	・実習レポート ・パフォーマンステスト	・ワークシート ・定期考査

3 ウマの活用と効果

(1) 単元の目標

- ① ウマの誕生と活用の歩について興味・関心を高め、活用による分類を理解するとともに利用目的を学習し理解させる。
- ② わが国におけるウマの活用方法とこれからのウマの活用方法について理解させる。
- ③ プロジェクト学習法を用いて、飼育しているウマの活用方法に関する基礎的な知識と技術を身に付けさせる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ウマの活用と効果の歩みに対する興味・関心を持ち、ウマの活用方法について探求しようとしている。	ウマの活用と効果に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	ウマの活用と効果に関する基礎的な技術を身に付け、馬の活用に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ウマの活用と効果に対して基礎的な知識身に付け、ウマの活用方法を理解している。
主な評価方法			
・ノート提出	・ワークシート	・パフォーマンステスト ・実習レポート	・ワークシート ・定期考査

4 ウマの種類と品種

(1) 単元の目標

- ① ウマの種類と品種に適した活用方法に関する基礎的な知識と技術を習得させ体験的に学習することを理解させる。
- ② 学校で飼育しているウマの種類と品種に関する基礎的な知識と技術を身に付けさせる。
- ③ 在来馬の種類と生息地に関する知識を身につけ、生存の減少について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ウマの種類と品種に適した活用方法について興味・関心を持ち、馬具の名称や使用方法、装着方法、着脱について探究しようとしている。	ウマの種類と品種に適した活用方法に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	飼育しているウマの活用方法に関する基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	在来馬の種類と生息地に関する知識を身につけ、生存の減少について理解している。
主な評価方法			
・ノート提出	・ワークシート	・パフォーマンステスト ・実習レポート	・ワークシート ・定期考査

生産科学科 2 年『グリーンライフ』 単元別評価規準

【科目の目標】

農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得させ、地域資源の有用性を理解させるとともに、地域に根差した事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考判断	技能	知識・理解
農林業・農山村の特色や地域資源の有用性について興味・関心をもち、農林業・農山村の特色や地域資源の有用性などについて探究しようとしている。	農林業・農山村の特色や地域資源の有用性に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農林業・農山村の特色や地域資源の有用性に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	農林業・農山村の特色や地域資源の有用性に関する基礎的な知識を身に付け、農林業・農山村の特色や地域資源の有用性の重要性などを理解している。

1 グリーンライフの世界

学習指導要領 (2) グリーンライフの概要、(4) グリーンライフの活動実践

(1) 単元の目標

- ① 現代社会において、食や環境、ストレスなどが課題となり、豊かさの尺度を物質的なものから精神的なものへ求める傾向から、豊かに生きる意義を考えさせ、グリーンライフへ興味と関心を持たせる。
- ② 農村暮らし、農村レストラン、農産物直売所、市民農園、観光農園などの取り組みについて、外国のグリーンライフ実践例も踏まえて理解させる。
- ③ グループ学習を通して、農林業・農山村の持つ多面的機能や地域資源の有用性を発揮させることの重要性を理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考判断	技能	知識・理解
グリーンライフの世界について興味・関心をもち、人間生活とグリーンライフの関わりについて探究しようとしている。	グリーンライフの世界に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	グリーンライフの世界に関する様々な資料や情報収集し、適切に選択し活用している。	グリーンライフの世界に関する基礎的な知識を身に付け、人間生活とグリーンライフの関わりについて理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート	・演習問題 ・定期考査	・ノート ・定期考査

2 農業・農村の機能（キュウリ栽培）の発見と活用

学習指導要領（3）地域資源の発見・保全・活用

（1）単元の目標

- ① 地域資源としてのキュウリの栽培について調査や体験などにより学習させ、地域資源の有用性について理解させる。
- ② 地域資源としてのキュウリを管理・活用する活動の実践を通して、地域への愛着を深め、地域で生活することについて考えさせる。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考判断	技能	知識・理解
キュウリ栽培について興味・関心をもち、播種・管理・収穫・利用などキュウリの管理・活用に探究しようとしている。	キュウリ栽培に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	キュウリ栽培に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	キュウリ栽培に関する基礎的な知識を身に付け、キュウリの管理・活用する活動について理解している。
主な評価方法			
・ノート ・実習レポート	・ノート ・実習レポート	・実習レポート ・パフォーマンステスト	・ノート ・定期考査

3 グリーン・ツーリズム

学習指導要領（2）グリーンライフの概要

（1）単元の目標

- ① 余暇活動について外国の事例と比較することにより、グリーン・ツーリズムへの考えを深める。
- ② グリーン・ツーリズムを実践するために、農山村と都市との交流や他産業・異業種と連携する重要性を理解させる。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考判断	技能	知識・理解
グリーン・ツーリズムについて興味・関心をもち、グリーン・ツーリズムの取組について探究しようとしている。	グリーン・ツーリズムに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	グリーン・ツーリズムに関する様々な資料や情報収集し、適切に選択し活用している。	グリーン・ツーリズムに関する基礎的な知識を身に付け、グリーン・ツーリズムの取組について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート	・演習問題 ・定期考査	・ノート ・定期考査

生産科学科 2 年『馬学』 単元別評価規準

【科目の目標】

軽種馬の飼育や生産経営に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身につけ、馬と人間との関わりを理解し、地域産業を支える担い手と理解者や協力者としての知識や能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
軽種馬の飼育や生産、経営について興味・関心をもち、それぞれの課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	馬の種類、厩舎環境、軽種馬の生態・繁殖技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	馬の種類、厩舎環境、軽種馬の生態・繁殖技術に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、軽種馬生産に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	軽種馬の飼育や生産、経営に関する基礎的な知識を身に付け、馬の種類、厩舎環境、軽種馬の生態・繁殖技術の重要性を理解している。また、健全な軽種馬の飼育における飼料管理の重要性について理解している。

1 馬の種類と人との関わり

(1) 単元の目標

- ① 地域の基幹産業である軽種馬生産について興味・関心を高めるとともに、軽種馬生産における特性を理解するとともに実践的に学習することを理解させる。
- ② 古くから人との関わりが深い馬について理解することで、馬に対する興味・関心を高めるとともに、馬を活用する様々な事例について理解させる。
- ③ プロジェクト学習と連携し乗馬のもつ様々な効果について興味・関心を高めるとともに、主体的、自律的に学習する態度を育成する学習活動であることを理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
馬の種類と人との関わりに対する興味・関心をもち、それぞれの課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	馬の種類と人との関わりに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	馬の種類と人との関わりに関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	馬の種類と人との関わりに関する基礎的な知識を身に付け、軽種馬生産における特性を理解している。
主な評価方法			
・ノート提出 ・小テストの提出	・ワークシート	・レポート	・ノート提出 ・定期考査

2 厩舎と農場の環境

(1) 単元の目標

- ① 農場における実習を通して、厩舎環境の整備に必要な道具の使い方や名前を理解させ、正しい手順で厩舎の環境整備をする技術を体得させる。
- ② 農場の環境整備管理に関する基礎的な知識と技術を習得させ、体験的に理解させる。
- ③ 自然の生態系は多様な生物の共生と物質循環によって維持されていることを理解させ、地球の生態系、生物の多様性及び物質循環機能に興味と関心を持たせる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
厩舎と農場の環境について興味・関心を持ち、それぞれの課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	厩舎・農場環境整備、地球生態系、生物の多様性及び物質循環機能に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	厩舎・農場環境整備、地球生態系、生物の多様性及び物質循環機能における基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	厩舎と農場の環境に関する基礎的な知識を身に付け、厩舎・農場環境整備、地球生態系、生物の多様性及び物質循環機能を関連付けて理解している。
主な評価方法			
・ノート提出 ・実習への集合時間	・ワークシート ・実習の終了時間	・パフォーマンステスト ・馬房の清掃時間	・ワークシート ・定期考査

3 軽種馬の生態

(1) 単元の目標

- ① 軽種馬の体系的特徴や癖を理解させ、安全な軽種馬生産に興味と関心を持たせる。
- ② 軽種馬における行動や特徴を理解させ、軽種馬と人間の良好な関係作りを進める。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
軽種馬の生態に興味・関心をもち、それぞれの課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	軽種馬における体系的特徴、行動や特徴に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	軽種馬における体系的特徴、行動や特徴における基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	軽種馬の生態に関する基礎的な知識を身に付け、軽種馬における体系的特徴、行動や特徴を関連付けて理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・ワークシート ・観察レポート	・ワークシート ・観察レポート	・ワークシート ・定期考査

4 馬の繁殖技術

(1) 単元の目標

- ① 馬の出産や種付けに関する基礎的、基本的な事項を理解し興味と関心を持たせる。
- ② 馬や他の家畜での繁殖においての違いを理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
馬の繁殖技術に興味・関心をもちそれぞれの課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	馬の出産や種付け、他の家畜との繁殖の違いに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	馬の出産や種付け、他の家畜との繁殖の違いにおける基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	馬の繁殖技術に関する基礎的な知識を身に付け、馬の出産や種付け、他の家畜との繁殖の違いを関連付けて理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・施設見学レポート	・ワークシート ・定期考査

生産科学科 2 年『馬利用学』 単元別評価規準

【科目の目標】

乗用馬の飼養管理や調教を通して、興味・関心を高めるとともに、騎乗、馴致に必要な知識と技術を身につけ、馬の特性や心理を理解し、新馬、乗馬療養に使用する馬の育成、管理能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
乗用馬の飼養管理や調教について興味・関心をもち、それぞれの課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	乗用馬の特性や心理と環境の保全など乗用馬を馴致し調教をする環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	乗用馬の調教や馴致に関わる乗用馬の騎乗や飼養管理に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、馬利用に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	乗用馬の騎乗方法や飼養管理に関する基礎的な知識を身に付け、乗用馬の調教、馴致に必要な馬の特性、心理の重要性を理解している。また、日々の馬との正しいコミュニケーション方法について理解している。

1 馬具と馬装

(1) 単元の目標

- ① 馬に使用する馬具について興味・関心を高め、馬具の名称や使用法を理解するとともに実践的に学習することを理解させる。
- ② 馬具を乗馬に装着し、馬に騎乗する事前準備、正しい装着方法と用途について理解させる。
- ③ 馬装を実践し、騎乗前の着脱ができ、安全に乗馬が実施できる技術を身につけさせる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
馬具と馬装について興味・関心をもち、馬具の名称や使用法、装着方法、着脱について探究しようとしている。	馬具や馬装に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	馬具と馬装に関する基礎的な技術を身に付け、馬具の正しい装着方法、安全に乗馬が実施できる技術を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	馬具と馬装に関する知識を身につけ、馬具の名称や使用法、装着方法、着脱を理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・小テスト	・ワークシート	・馬装の実践 ・馬装試験	・馬装試験 ・定期考査

2 セラピーホースの馴致

(1) 単元の目標

- ① セラピーホースに適した育成方法に関する基礎的な知識と技術を習得させ体験的に理解させる。
- ② ホースセラピーについて興味・関心を高め、セラピーホースの馴致、調教技術を体得させる。
- ③ セラピーホースの調教に必要な道具の使い方や名前を理解させ、正しい使用方法で馬の調教を行う技術を体得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ホースセラピーに対する興味・関心を持ち、馴致、調教技術、道具の使用方法について探求しようとしている。	セラピーホースの馴致に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	セラピーホースの馴致における基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	セラピーホースの馴致に関する知識を身につけ、馴致、調教技術、道具の使用方法を理解している。
主な評価方法			
・ノート提出 ・ワークシート	・ワークシート	・パフォーマンステスト ・調教後の馬の状況	・ワークシート ・定期考査

3 乗馬療育プロジェクト

(1) 単元の目標

- ① 乗馬療育について、プロジェクト学習法を用いた体験的、探究的な学習を通して、生徒の興味・関心を高めるとともに、科学的な見方・考え方と実践力を育成させる。
- ② 障がいのある方々との接し方に関する基礎的な知識を習得し、交流プログラムの計画立案や活動の支援、評価を行う実践力を習得させる。
- ③ 乗馬療育における馬の飼育を通して、乗馬療育に必要な馬の飼育管理について知識、技能を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
乗馬療育について興味・関心をもち、その飼育管理から乗馬までのセラピープロジェクトに主体的に取り組む、乗馬と人との関わりについて探究しようとしている。	乗馬の種類と特性、乗馬コースや交流の企画、運営に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	乗馬療育に関する基礎的な技術を身に付け、交流プログラムのプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	乗馬療育について基礎的な知識を身に付け、交流プログラムの企画立案や活動の支援、評価、飼育管理を理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・ワークシート	・実習レポート ・パフォーマンステスト	・ワークシート ・定期考査

4 乗馬交流で使用する支援道具の製作

(1) 単元の目標

- ① 乗馬交流で使用する支援道具の製作を通して、必要な道具の使い方や名前を理解させ、正しい手順で支援道具の製作をする技術を体得させる。
- ② 支援道具に関する基礎的な知識と技術を習得させ、乗馬に騎乗するうえで安全な環境について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
乗馬交流で使用する支援道具の製作について興味・関心を持ち、環境保全・創造の重要性などについて探求しようとしている。	乗馬交流で使用する支援道具の製作に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	乗馬交流で使用する支援道具の製作に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	乗馬交流で飼養する支援道具に関する基礎的な知識を身に付け、乗馬の騎乗をするうえで安全な環境を理解している。
主な評価方法			
・ノート提出	・ワークシート ・支援道具の製作	・パフォーマンステスト ・支援道具の制作	・ワークシート ・定期考査

生産科学科３年『課題研究』 単元別評価規準

【科目の目標】

農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
設定した農業の課題について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	設定した農業の課題について諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	設定した農業の課題に関する基礎的な技術を身に付け、設定した農業の課題に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	設定した農業の課題など農業と環境に関する基礎的な知識を身に付け、調査・研究・実験、産業現場等における実験、学校農業クラブの重要性を理解している。

1 問題等の発見と課題の設定

学習指導要領（１）調査、研究、実験

（１）単元の目標

- ① 生徒のこれまでの農業学習のまとめ及び卒業生の記録や地域農業の具体的な事例の探索を通して、情報を収集、分類し、関心がもてる事象や問題を選択、発見する方法を体得させる。
- ② 選び出した事象や問題が農業各分野の課題や自らの課題として適切であるかなどの検討ができ、課題として設定させる。
- ③ 設定した課題及びそれを解決した成果の社会的な意義や個人的な意義を理解させるとともに課題設定能力を育成する。

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
これまでの農業学習のまとめ及び記録や地域農業の事例について興味・関心をもち、学習の課題について探究しようとしている。	これまでの農業学習のまとめ及び記録や地域農業の事例に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	これまでの農業学習のまとめ及び記録や地域農業の事例に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	これまでの農業学習のまとめ及び記録や地域農業の事例に関する基礎的な知識を身に付け、学習の課題について理解している。
主な評価方法			
・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿

2 計画の立案

学習指導要領 (1) 調査、研究、実験

(1) 単元の目標

- ① 設定した課題の分析と検討並びに課題解決に必要な期間、経費、施設、設備、材料、方法などの検討及び計画を立てることを通して、課題の解決方法を理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
設定した課題の分析と検討並びに課題解決について興味・関心をもち、課題解決方法について探究しようとしている。	設定した課題の分析と検討並びに課題解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	設定した課題の分析と検討並びに課題解決に関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用している。	設定した課題の分析と検討並びに課題解決に関する基礎的な知識を身に付け、課題解決方法について理解している。
主な評価方法			
・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿

3 調査・研究・実験の取組

学習指導要領 (1) 調査、研究、実験

(1) 単元の目標

- ① 計画に基づいて、科学的、合理的に調査、研究、実験に取り組ませ、客観性のある記録を行わせ、実施の各段階において、自ら評価を行わせる。
- ② 個人又はグループで実施することを通して、科学性、主体性、協調性及び実行力を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
計画に基づいて取り組む調査、研究、実験について興味・関心をもち、自らの評価について探究しようとしている。	計画に基づいて取り組む調査、研究、実験に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	計画に基づいて取り組む調査、研究、実験に関する基礎的な技術を身に付け、調査・研究・実験に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	計画に基づいて取り組む調査、研究、実験に関する基礎的な知識を身に付け、調査・研究・実験について理解している。
主な評価方法			
・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿

4 まとめと自己評価

学習指導要領 (1) 調査、研究、実験 (5) 学校農業クラブ活動

(1) 単元の目標

- ① 取組の内容や結果をまとめ、評価させることを通して、結果の分析やまとめ方及び報告書の作成方法などを習得させ、まとめ上げる力や自己評価を行う能力と態度を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
取組の内容や結果のまとめや評価について興味・関心をもち、結果の分析やまとめ方及び報告書の作成方法について探究しようとしている。	取組の内容や結果のまとめや評価に関する取組の内容や結果について、諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	取組の内容や結果のまとめや評価に関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用している。	取組の内容や結果のまとめや評価に関する基礎的な知識を身に付け、結果の分析やまとめ方及び報告書の作成方法について理解している。
主な評価方法			
・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿 ・実績発表	・実習記録簿

5 学校農業クラブ活動

学習指導要領 (5) 学校農業クラブ活動

(1) 単元の目標

- ① 農業における技術競技について興味・関心を高めるとともに、技術及び経営と管理について理解させる。
- ② 農業における意見発表について興味・関心を高めるとともに、自主的に発表を行い、言語活動の充実と表現力の向上を図り、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成する。
- ③ 農業におけるプロジェクト発表について興味・関心を高めるとともに、自主的に研究、発表を行い、言語活動の充実と表現力の向上を図り、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成する。
- ④ 学校農業クラブ活動について興味・関心を高めるとともに、自主的、主体的に学習する態度を育成する学習活動であることを理解させる。
- ⑤ 学校農業クラブ活動に参加することで、興味・関心を高め、意欲的に活動する態度を育成する。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現・表現	技能	知識・理解
農業クラブ活動について興味・関心をもち、農業学習の特質及び学校農業クラブ活動の学習の課題について探究しようとしている。	農業学習の特質及び学校農業クラブ活動について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	農業クラブ活動に積極的に参加し、日常の学習から資料や情報を収集し、適切に活用している。	農業学習と学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の特質及び学校農業クラブ活動について学習の特徴を理解している。
主な評価方法			
・ワークシート ・実習記録簿	・ワークシート ・実習記録簿	・実習記録簿	・ワークシート ・実習記録簿

生産科学科３年『総合実習』 単元別評価規準

【科目の目標】

農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
自ら設定した農業に関する課題について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	自ら設定した農業に関する課題について諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	調査・研究・実験、などを通して、各科目で学習した知識と技術を再確認し、自らの課題解決に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	調査・研究・実験、などを通して、各科目で学習した知識と技術を再確認し、自らの課題解決に活用できる高度な知識と理解力を身に付けている。

１ 農業の各分野に関する総合的な実習（時間外実習）

学習指導要領（１）農業の各分野に関する総合的な実習

（１）単元の目標

- ① 園芸・馬分野の総合的な実習を通して、作物栽培、家畜飼育に関する知識と技術を習得させ、技術の役割と各技術の相互関係を理解させるとともに、それらの技術を生産、加工、利用の各場面で活用する実践的な能力と態度の育成を図る。

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業生物の栽培・飼育について興味・関心をもち、農業生物の特性、栽培・飼育環境及びそれらの管理技術が相互に関係していることについて探究しようとしている。	農業生物の栽培・飼育に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、実践的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業生物の栽培・飼育に関する実践的な技術を身に付け、農業生物の育成に関する技術を適切に活用している。	農業生物の栽培・飼育に関する実践的な知識を身に付け、農業生物の特性、栽培・飼育環境及びそれらの管理技術が相互に関係していることを理解している。
主な評価方法			
・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿	・実習記録簿

生産科学科 3 年『草花』 単元別評価規準

【科目の目標】

草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
草花の生産と経営について興味・関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	草花の生産と経営など草花に関する品質と生産性の向上及び経営における諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	草花に関する品質と生産性の向上及び経営に関する基礎的な技術を身に付け、草花の特性や生産に適した環境に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	草花の特性や生産に適した環境に関する基礎的な知識を身に付け、草花の特性と生産に適した環境や品質と生産性の向上及び経営の改善の重要性を理解している。

1 草花の特徴と栽培技術

学習指導要領 (2) 草花の特性と栽培技術

(1) 単元の目標

- ① 各生育段階の環境要素、栽培環境と生育の調節並びに成長調節物質の利用について学習させる。草花の各生育段階における環境要素の作用に関する知識を習得させる。
- ② 温度、水、光、土、栄養などの環境要素が草花に影響を与えること及び肥培管理や成長調節物質の利用が草花の生育を調節することを理解させる。
- ③ 草花の品種改良の目的と原理について学習させ、草花栽培に用いられる F1 品種の利用、交雑、選抜やバイオテクノロジーの利用について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
草花栽培に関わる環境要素、栽培環境について興味・関心を持ち、主体的に草花栽培に取り組み、草花の生育と成長と環境について探究しようとしている。	草花栽培を通して、草花の生育に関する環境要素、栽培環境など諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	草花栽培に関する基礎的な技術を身に付け、効果的な成長調節に関する合理的な計画が立てられ、その技術を適切に表現している。	草花栽培の基礎的な知識を身に付け、生育の特徴や成長と環境を関連付けて理解し、草花の品種改良の必要性を理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・実技試験	・授業用プリント ・定期考査

2 鉢ものの生産

学習指導要領 (3) 草花の生産

(1) 単元の目標

- ① 鉢ものの生産の栽培的特性と経営的特性について学習させ、草花の生理、生態や栽培環境に対する草花の適応性などの栽培的な特性と、労働生産性、資本生産性、収益性、市場性など経営的な特性について理解させる。
- ② 鉢ものの生産の特性、消費動向と市場性並びにそれらを生かした品種の選定方法について学習させ、鉢ものの生産の動向と今後の課題について理解させる。
- ③ 鉢ものの生産の経済性や消費動向などから経営に合った有利な作型と栽培計画を立てるために必要な知識と技術を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
鉢ものの生産について興味・関心をもち、栽培的・経営的な特性について探究しようとしている。	鉢ものの生産に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	鉢ものの生産に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	鉢ものの生産に関する基礎的な知識を身に付け、栽培的・経営的な特性について理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・実技試験	・授業用プリント ・定期考査

3 鉢ものの栽培管理

学習指導要領 (3) 草花の生産

(1) 単元の目標

- ① シクラメンの栽培を通して草花栽培の栽培管理に関する知識と技術を習得させ、プロジェクト学習法を用いた実践的、発展的な学習を通して、生徒の興味・関心を高めるとともに、科学的な見方・考え方と実践力を育成する。
- ② シクラメンの特性、育成環境及び栽培に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
- ③ プロジェクト学習法を用いて、シクラメンの栽培の計画・管理・評価の方法を習得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
シクラメンの栽培について興味・関心をもち、たねまきから出荷までの栽培プロジェクトに主体的に取り組み、草花の育成と栽培環境について探究しようとしている。	シクラメンの特性、栽培環境の要素、利用及び計画・管理・評価に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	シクラメンの栽培の基礎的な技術を身に付け、草花の育成に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	シクラメンの栽培の基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連付けて理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・実技試験	・授業用プリント ・定期考査

4 草花経営の改善

学習指導要領（４）草花経営の改善

（１）単元の目標

- ① 草花生産の経営の目標や条件並びに栽培管理や収穫・出荷の作業体系の改善について学習させる。
- ② 地域や経営目標に応じた草花栽培の作業体系に改善する能力と態度を育成する。
- ③ 草花の生産費と流通など草花生産の経営改善について学習させる。草花の生産費の計算方法や販売方法について理解させ、経営形態に応じた合理的な生産と流通に改善する能力と態度を育成する。

（２）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
草花生産の経営と作業体系の課題について興味・関心をもち、我が国の草花生産について探究しようとしている。	草花生産の経営と作業体系に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	地域や経営目標に応じた草花栽培の作業体系に改善する能力を養い、課題に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	草花の生産費と流通など草花生産の経営改善と課題に関する基礎的な知識を身に付け、草花の生産費や販売方法などの経営形態に応じた合理的な生産と流通の重要性について理解している。
主な評価方法			
・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント	・授業用プリント ・定期考査

生産科学科 3 年『農業経済』 単元別評価規準

【科目の目標】

農業及び食品産業の経済活動に関する知識と技術を習得させ、流通及び市場の原理を理解させるとともに、流通の改善を図る能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業及び食品産業の経済活動、流通及び市場の原理について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	農業及び食品産業の経済活動、流通及び市場に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	農業及び食品産業の経済活動、流通及び市場に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	農業及び食品産業の経済活動、流通及び市場に関する基礎的な知識を身に付け、理解している。

1 農産物の流通

学習指導要領 (3) 農産物の需給と価格形成 (4) 農産物の流通と経済

(1) 単元の目標

- ① 農産物の需要と供給の変動及びその要因に関する知識を習得させ、消費の弾力性などについて理解させる。
- ② 流通機能の分担者や流通経路など流通の仕組みに関する知識を習得させ、流通の社会的役割と機能について理解させる。
- ③ 農産物、加工食品などの農業生産の流通に関する知識を習得させ、流通の構造を理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農産物の流通について興味・関心をもち、農産物の需要と供給、流通の構造と機能、農産物・加工食品の流通について探究しようとしている。	農産物の需要と供給、流通の構造と機能、農産物・加工食品の流通について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	農産物の需要と供給、流通の構造と機能、農産物・加工食品の流通に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	農産物の流通に関する基礎的な知識を身に付け、農産物の需要と供給、流通の構造と機能、農産物・加工食品の流通について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査

2 農業協同組合

学習指導要領 (5) 農業生産の組織と食品産業

(1) 単元の目標

- ① 農業協同組合の目的、組織、事業、運営などに関する知識を習得させ、販売事業や信用事業など農業協同組合が地域の農業や農村社会において果たしている役割を理解させる。
また、農業協同組合の現状と課題について考えさせる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業協同組合について興味・関心をもち、農業協同組合が地域の農業や農村社会において果たしている役割について探究しようとしている。	農業協同組合の現状と課題について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	農業協同組合に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	農業協同組合に関する基礎的な知識を身に付け、農業協同組合が地域の農業や農村社会において果たしている役割について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査

3 北海道の農業

学習指導要領 (4) 農産物の流通と経済

(1) 単元の目標

- ① 北海道農業の特徴と地位に関する知識を習得させ、生産量や地域の特徴などについて理解させる。
- ② 北海道で生産されている農産物・加工品に関する知識を習得させ、北海道の農産物・加工品の役割と動向について理解させる。
- ③ 北海道で生産されている農産物の流通・物流に関する知識を習得させ、北海道の農産物の流通・物流の構造を理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
北海道の農業について興味・関心をもち、特徴、役割と動向、流通・物流の構造について探究しようとしている。	北海道農業の特徴、役割と動向、流通・物流の構造について思考を深め、基礎的な知識を基に合理的に判断し、適切に表現している。	北海道農業の特徴、役割と動向、流通・物流の構造に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	北海道の農業に関する基礎的な知識を身に付け、特徴、役割と動向、流通・物流の構造について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査

4 農業・食料政策と関係法規

学習指導要領 (7) 農業・食料政策と関係法規

(1) 単元の目標

- ① 農業や食品産業の動向について学習させ、農業・食料政策の意義と歴史的経過について理解させる。
- ② 農業関係法規の概要に関する知識を習得させ、農業経済と農業関係法規との関係や重要性について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農業・食料政策と関係法規について興味・関心をもち、農業・食料政策、農業経済と関係法規について探究しようとしている。	農業・食料政策、農業経済と関係法規に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業・食料政策、農業経済と関係法規に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	農業・食料政策と関係法規に関する基礎的な知識を身に付け、農業・食料政策、農業経済と関係法規について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート ・レポート	・レポート	・定期考査

生産科学科 3 年『グリーンライフ』 単元別評価規準

【科目の目標】

農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得させ、地域資源の有用性を理解させるとともに、地域に根差した事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
農林業・農山村の特色や地域資源の有用性について興味・関心をもち、農林業・農山村の特色や地域資源の有用性などについて探究しようとしている。	農林業・農山村の特色や地域資源の有用性に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農林業・農山村の特色や地域資源の有用性に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	農林業・農山村の特色や地域資源の有用性に関する基礎的な知識を身に付け、農林業・農山村の特色や地域資源の有用性の重要性などを理解している。

1 農業・農村の機能（ナス栽培）の発見と活用

学習指導要領（3）地域資源の発見・保全・活用

（1）単元の目標

- ① 地域資源としてのナスの栽培について調査や体験などにより学習させ、地域資源の有用性について理解させる。
- ② 地域資源としてのナスを管理・活用する活動の実践を通して、地域への愛着を深め、地域で生活することについて考えさせる。
- ③ 自然・景観等の農山村の環境や歴史、行事・伝統技術等の文化及び人材を資源として理解させ、農山村へ興味と関心をもち、それらの資源を保全・活用・継続する活動を実践できる能力と態度を育成する。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ナス栽培について興味・関心をもち、播種・管理・収穫・利用などナスの管理・活用に探究しようとしている。	ナス栽培に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	ナス栽培に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	ナス栽培に関する基礎的な知識を身に付け、ナスの管理・活用する活動について理解している。
主な評価方法			
・ノート ・実習レポート	・ノート ・実習レポート	・実習レポート ・パフォーマンステスト	・ノート ・定期考査

2 直売所（葉物野菜の生産・出荷）

学習指導要領（3）地域資源の発見・保全・活用、（5）グリーンライフ活動

（1）単元の目標

- ① 葉物野菜を生産から出荷まで体験し、生産物の直売所の経営に必要な知識と技術を習得させ、運営にあたっての留意点等を理解させる。
- ② 直売所の企画や実践ができる能力と態度を育成する。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
葉物野菜の生産・出荷について興味・関心を持ち、直売所の運営について探究しようとしている。	葉物野菜の生産・出荷に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	葉物野菜の生産・出荷に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	葉物野菜の生産・出荷に関する基礎的な知識を身に付け、直売所の運営について理解している。
主な評価方法			
・ノート ・実習レポート	・ノート ・実習レポート	・実習レポート ・パフォーマンステスト	・ノート ・定期考査

3 対人サービスのマナー

学習指導要領（4）グリーンライフ活動の実践

（1）単元の目標

- ① 接客・接遇、電話対応、文書の書き方等、対人サービスに必要な基礎知識と技術を習得させる。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
対人サービスのマナーについて興味・関心を持ち、接客・電話対応・文書の書き方等について探究しようとしている。	対人サービスのマナーに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	対人サービスのマナーに関する様々な資料や情報収集し、適切に選択し活用している。	対人サービスのマナーに関する基礎的な知識を身に付け、接客・電話対応・文書の書き方等について理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート	・レポート ・定期考査	・ノート ・定期考査

4 市民農園・観光農園

学習指導要領 (4) グリーンライフ活動の実践、(5) グリーンライフ活動

(1) 単元の目標

- ① グリーンライフ活動を実践するに当たり、地域コーディネータの役割と意義、必要とされる知識や技術について理解させる。
- ② 市民農園・観光農園の企画、運営に必要な知識と技術を習得させ、農園体験における応接や交流の在り方について理解させ、市民農園や観光農園を管理、運営できる能力を育てる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
市民農園・観光農園について興味・関心を持ち、グリーンライフ活動の関わりについて探究しようとしている。	市民農園・観光農園に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	市民農園・観光農園に関する様々な資料や情報収集し、適切に選択し活用している。	市民農園・観光農園に関する基礎的な知識を身に付け、グリーンライフ活動の関わりについて理解している。
主な評価方法			
・ノート	・ノート	・レポート ・定期考査	・ノート ・定期考査

生産科学科 3 年『馬学』 単元別評価規準

【科目の目標】

軽種馬の飼育や生産経営に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身につけ、馬と人間との関わりを理解し、地域産業を支える担い手と理解者や協力者としての知識や能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
軽種馬の飼育や生産、経営について興味・関心をもち、それぞれの課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	馬の種類、厩舎環境、軽種馬の生態・繁殖技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	馬の種類、厩舎環境、軽種馬の生態・繁殖技術に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、軽種馬生産に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	軽種馬の飼育や生産、経営に関する基礎的な知識を身に付け、馬の種類、厩舎環境、軽種馬の生態・繁殖技術の重要性を理解している。また、健全な軽種馬の飼育における飼料管理の重要性について理解している。

1 軽種馬の飼養管理

(1) 単元の目標

- ① 軽種馬における消化機構や給与飼料の種類について興味・関心を高めるとともに、それぞれの飼料の役割を理解させる。
- ② 放牧地や採草地の維持管理を行うために必要な除草や追肥、追播を体得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
軽種馬の飼養管理に興味・関心をもち、それぞれの課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	飼料の役割や飼養管理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	飼料の役割や飼養管理に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	軽種馬の飼養管理に関する基礎的な知識を身に付け、飼料の役割や飼養管理を関連付けて理解している。
主な評価方法			
・ノート提出 ・小テストの提出	・ワークシート	・ワークシート ・レポート ・演習問題	・ノート提出 ・定期考査

2 軽種馬の飼育管理（仔馬から育成馬へ）

（1）単元目標

- ① 軽種馬の販売であるセリに向けた調教や手順を習得させ、よりよい軽種馬の見せ方を理解させる。
- ② 馬が離乳する際の注意点を理解し、その基礎的な知識と技術を習得させ、体験的に理解させる。
- ③ 母子関係からアスリートとして巣立つための重要な環境変化である離乳のタイミングについて、科学的な見地から判断できる様に離乳について理解させる。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
軽種馬の飼育管理に興味・関心をもち、それぞれの課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	セリに向けた調教や手順、離乳する際の注意点に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	セリに向けた調教や手順、離乳する際の注意点に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、軽種馬生産に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	軽種馬の飼育管理に関する基礎的な知識を身に付け、及びそれらの管理技術が相互に関係していることを理解している。
主な評価方法			
・ノート提出 ・実習への集合時間	・ワークシート ・実習の終了時間	・パフォーマンステスト ・飼料給与の正確性	・ワークシート ・定期考査

3 土壌と牧草

（1）単元目標

- ① 草食家畜における、基礎飼料となる牧草の生育土壌について興味・関心を高め、土壌の物理性や化学性、効率的で栄養価の高い牧草を生産することを理解させる。
- ② 牧草の種類や特性を理解させ、地域に適した草種や管理技術を身につけさせる。
- ③ 主要な装置の造成、管理、利用に関する知識と技術を習得させ、軽種馬経営における放牧の意義を理解させる。

（2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
土壌と牧草に興味・関心をもち、それぞれの課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	牧草の生産、管理技術、放牧に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	牧草の生産、管理技術、放牧に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、軽種馬生産に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	土壌と牧草に関する基礎的な知識を身に付け、及びそれらの管理技術が相互に関係していることを理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・ワークシート	・実習レポート	・ワークシート ・定期考査

4 ロープワーク技術

(1) 単元の目標

- ① ロープを使って適切な大きさのもくしづくりに関する基礎的, 基本的な事項を理解し興味と関心を持たせる。
- ② 農業だけでなく様々な場面において活用できるロープの活用法について理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ロープワーク技術に興味・関心をもち、それぞれの課題の探究に意欲的に取り組みとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	もくしづくり、ロープの活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	もくしづくり、ロープワークに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	ロープワーク技術に関する基礎的な知識を身に付け、及びそれらの管理技術が相互に関係していることを理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・ワークシート	・パフォーマンステスト	・作品提出 ・定期考査

生産科学科 3 年『馬利用学』 単元別評価規準

【科目の目標】

乗用馬の飼養管理や調教を通して、興味・関心を高めるとともに、騎乗、馴致に必要な知識と技術を身につけ、馬の特性や心理を理解し、新馬、乗馬療養に使用する馬の育成、管理能力と態度を育てる。

【科目の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
乗用馬の飼養管理や調教について興味・関心をもち、それぞれの課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	乗用馬の特性や心理と環境の保全など乗用馬を馴致し調教をする環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	乗用馬の調教や馴致に関わる乗用馬の騎乗や飼養管理に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、馬利用に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	乗用馬の騎乗方法や飼養管理に関する基礎的な知識を身に付け、乗用馬の調教、馴致に必要な馬の特性、心理の重要性を理解している。また、日々の馬との正しいコミュニケーション方法について理解している。

1 乗用馬を活用した騎乗訓練

(1) 単元の目標

- ① 馬を活用した馬術、競馬、乗馬療育について興味・関心を高め、馬の特性や心理を理解するとともに実践的に学習することを理解させる。
- ② 乗用馬を活用し、馬の騎乗・操作方法について理解させ、安全に乗馬ができる技術を身につけさせる。
- ③ 乗馬に必要な三種の歩度を騎乗中に実践し、自由自在に馬の誘導ができる技術を身につけさせる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
乗用馬を活用した騎乗訓練について興味・関心をもち、馬の特性や心理、騎乗・操作方法について探究しようとしている	乗用馬を活用した騎乗訓練に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	乗用馬を活用した騎乗訓練に関する基礎的な技術を身に付け、騎乗訓練を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	乗用馬を活用した騎乗訓練に関する知識を身につけ、馬の特性や心理、騎乗・操作方法を理解している。
主な評価方法			
・ノート提出	・ワークシート ・曳き馬試験	・経路走行試験	・乗馬試験 ・定期考査

2 1歳馬の馴致と調教

(1) 単元の目標

- ① 馬の習性、心理に関する基礎的な知識と技術を習得させ体験的に理解させる。
- ② 馬の馴致、調教方法について興味・関心を高め、馴致、調教技術を体得させる。
- ③ 1歳馬の調教に必要な道具の使い方や名前を理解させ、正しい使用方法で馬の調教を行う技術を体得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1歳馬の馴致と調教について興味・関心を持ち、1歳馬の調教に必要な道具の使い方について探求しようとしている。	1歳馬の馴致に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	1歳馬の馴致における基礎的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	馬の馴致に関する知識を身につけ、馴致、調教技術、道具の使用方法和名前を理解している。
主な評価方法			
・ノート提出	・ワークシート	・パフォーマンステスト ・調教技術	・ワークシート ・定期考査

3 ナチュラルホースマンシップを取り入れた調教方法

(1) 単元の目標

- ① ナチュラルホースマンシップが馬に与える効果を理解し、安全で従順な療養用乗馬の育成に対して興味と関心を持たせる。
- ② 馬の行動学や心理学を理解させ、正しい馬と人とのコミュニケーション技術を体得させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ナチュラルホースマンシップが馬に与える効果と特性について興味関心をもち、生理・生態的な特性と調教方法について探求しようとしている。	ナチュラルホースマンシップを取り入れた調教に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	ナチュラルホースマンシップにおける基礎的な技術の技術を身に付け合理的に計画し、その技術を適切に表現している。	ナチュラルホースマンシップを取り入れた調教に関する知識を身につけ、ナチュラルホースマンシップが乗馬療育にもたらす効果、コミュニケーション技術を理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・ワークシート	・パフォーマンステスト ・調教技術	・ワークシート ・定期考査

4 馬を活用したスポーツ

(1) 単元の目標

- ① 馬を活用したスポーツに関する基礎的, 基本的な種目とルールを理解し興味と関心を持たせる。
- ② 馬術と競馬について興味・関心を持ち、各競技の違いとルールについて理解させる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
馬を活用したスポーツについて興味・関心を持ち、基本的な種目とルールについて探求しようとしている。	馬を活用したスポーツに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	馬を活用したスポーツに関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	馬を活用したスポーツに関する知識を身につけ、基本的な種目とルールを理解している。
主な評価方法			
・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・レポート	・ワークシート ・定期考査